

# 一般社団法人 日本生態学会

## 2022 年度第 4 回通常理事会

1. 日時：2023 年 2 月 18 日（土）13:00～17:20
2. 場所：ビジョンセンター田町 404 室およびオンライン会議（Zoom）
3. 出席者：
  - ・理事会構成員（20 名・定足数 10 名以上）  
（理事）宮下直、北島薫、大塚俊之、佐々木雄大、本庄三恵、久米篤、  
木村恵、吉田丈人、辻和希、鏡味麻衣子、日浦勉、酒井章子、  
工藤岳、鈴木牧、中野伸一、和田直也
  - ・監事：永松大、瀧本岳
  - ・オブザーバー：鈴木準一郎、永光輝義、細将貴、半場祐子、立田晴記、赤  
坂宗光、辻かおる
  - ・事務局：鈴木晶子
4. 議事概要：

定足数 10 名を超える 16 名の理事の出席を得て理事会が成立したことを確認した後、定款第 42 条に従い宮下直会長を議長として議事を進行した。議事録署名者は、定款第 46 条に則り、宮下直会長、永松大監事、瀧本岳監事とし、議事録作成者は大塚俊之専務理事が担当することとした。

### 報告事項

1. 事務局報告（庶務・会計）
  - ・資料 1 に基づいて大塚専務理事より山田科学振興財団研究助成へ生態学会員の推薦・申請を行ったこと、2022 年法人税を納税したことなど庶務 3 件、会計 6 件の報告があった。
  - ・資料 1 に基づいて会員数は一般会員が少し減っているが、学生会員が増えており全体人数も増えているとの報告があった。
2. Ecological Research 編集委員会報告
  - ・資料 2 に基づいて鈴木編集長より次世代育成型 Editor を新規採用したこと、受賞記念論文の出版状況、ESJ70 における ER フォーラム開催についての報告があった。
3. 日本生態学会誌編集委員会報告
  - ・資料 3 に基づいて永光編集長より発行状況と編集状況の報告があった。

#### 4. 出版状況報告

- ・ 久米出版担当理事より次世代育成型エディターの退任と新規採用について、ER 誌の新 Web サイト（日本語）が 2 月公開されたこと、2 月より Wiley 社の under review service である Authorea を 3 誌に導入したこと、2024 年以降の 3 誌出版計画案、英国生態学会（BES2022）にて英文 3 誌のブース出展を行ったこと、中国資本の英文誌出版状況についての報告があった。

#### 5. 大会準備状況報告

- ・ 資料 4 に基づいて細大会企画委員長より ESJ70 準備状況について、現在約 1400 名の参加申込みがあること、オンライン部会設置に向けて準備を進めていることなどの報告があった。
- ・ 実行委員会より資料 4 に基づいて ESJ70 非常時対応についての行動計画内容の報告があった。
- ・ 彦坂 ESJ70 実行委員長より、オンライン開催の配信基地として東北大学を使用すること、最終日の現地参加について 60～80 名とする予定等の報告があった。
- ・ 資料 4 に基づいて鏡味 ESJ71 実行委員長より横浜大会準備状況報告があった。日程と会場は 3 月中に確定の予定。

#### 6. 各種委員会報告（キャリア支援）

- ・ 資料 5 に基づいて鈴木理事より仙台大会でのフォーラム開催、託児支援、CPD 単位発行、キャリア支援ブース設置、将来計画委員会との連携についての報告があった。
- ・ 宮下会長より、仙台大会公開講演会の演者が全員男性であったため女性のコメンテーターを入れていただいたこと、学会後援のシンポジウムについて演者が全員男性であることについて指摘を受けたとの報告があった。これを受けて、ダイバーシティへの配慮を促すためにキャリア支援委員会で募集要項に記載する文言の文例を検討していくとの報告があった。

#### 7. 監査報告

- ・ 資料 6 に基づいて永松監事より 2022 年度監査を行い適正に行われたことが報告された。

#### 8. EAFES 報告

- ・ 資料 7 に基づいて中野理事より第 10 回 EAFES が 2023 年 7 月に完全対面での開催予定との報告があった。プレナリーセッションのスピーカーとして日

本から男女1名ずつを出す予定。

#### 9. 男女共同参画学協会連絡会報告

- ・ 男女共同参画学協会連絡会の半場代表理事より 2023 年 10 月に開催するシンポジウムについてスピーカーが女性に偏っているため、男性スピーカー候補者を推薦してほしいとの依頼があった。

#### 10. その他

- ・ 宮下会長より 1 月から生物科学学会連合の副代表に選出されたため、石川麻乃さんに生態学会の連絡委員を依頼したとの報告があった。

### 審議事項

#### 第1号議案 大会開催について (ESJ72 北海道・ESJ73 近畿)

- ・ 資料8に基づいて工藤理事より 2025 年 3 月開催の ESJ72 北海道地区開催会場と日程の提案があったが、日程を再検討することになり継続審議となった。
- ・ 資料8に基づいて 2026 年 3 月の大会開催地区について、順番として近畿地区会になるとの説明があり、近畿地区に依頼することが全会一致で承認された。

#### 第2号議案 2022 年度決算案について

- ・ 資料9に基づいて本庄会計担当理事より 2022 年決算報告があり、収入はほぼ予算通りで支出については前年と同じく対面や移動を伴う活動が減っているため単年度収支で約 990 万円の黒字となったとの報告があった。
- ・ 2022 年一般会計・特別会計・貸借対照表の決算について全会一致で承認された。

#### 第3号議案 2023 年度予算案について

- ・ 資料10に基づいて本庄会計担当理事より 2023 年予算について約 1780 万円の赤字見込みとしているが科研費収入が予測できないこと、大会参加費を低く見積もることや OA 出版費用を多めに捻出することはこれまでの理事会で承認されているとの説明があった。
- ・ 2023 年予算は全会一致で承認された。
- ・ 繰越金の扱いについて議論が必要との意見があった。

#### 第4号議案 役員選任について

- ・ 資料11に基づいて宮下会長より 2023 年 3 月の任期満了に伴う新理事・監

事候補の提案があり、全会一致で承認された。

#### 第5号議案 代議員欠員補充について

- ・ 資料12に基づいて宮下会長より説明があり、近畿地区選出代議員潮雅之氏の所属地区変更のため、次点の井鷲裕司氏が代議員となることが全会一致で承認された。

#### 第6号議案 委員の承認

- ・ 資料4に基づいて細大会企画委員長より委員追加の提案があり、全会一致で承認された。
- ・ 資料13に基づいて生態学教育専門委員会より委員追加の提案があり、全会一致で承認された。

#### 第7号議案 ER編集委員会からの審議事項

- ・ 資料2に基づいて鈴木ER編集長よりER論文賞候補論文の説明があり、編集委員会から推薦のあった5報について全会一致で承認された。
- ・ 資料2に基づいて鈴木ER編集長より投稿規定変更の説明があり、全会一致で承認された。

#### 第8号議案 ESJ71運営検討TFの設置

- ・ 資料14に基づいて宮下会長より説明があり、ESJ71運営検討タスクフォースの設置が全会一致で承認された。

#### 第9号議案 賞新設について

- ・ 資料15に基づいて宮下会長より説明があり審議し、賞の名称を「日本生態学会自然史研究振興賞」とすること、応募用紙の一部を変更することを踏まえて承認を諮り、賛成多数で承認された。

#### 第10号議案 男女共同参画学協会連絡会若手雇用問題提言書について

- ・ 資料16に基づいて男女共同参画学協会連絡会の半場代表理事より説明があり、連絡会の要望書案に賛同することが全会一致で承認された。

#### 第11号議案 総会の日時及び場所並びに議事に付すべき事項の決定について

- ・ 資料17に基づいて宮下会長より提案があり、総会日時および場所並びに議事に付すべき事項について全会一致で承認された。

## その他

- ・ 宮下会長より海外旅費について学会からの支出についてガイドラインの作成を検討しているとの説明があり意見聴取を行った。

閉会：以上の議事を終え、17時20分に閉会した。

上記の決議を明確にするため、会長、監事がこれに記名押印する。

2023年2月18日

会 長 : 宮下 直 ⑩

監 事 : 永松 大 ⑩

瀧本 岳 ⑩